

年 組 名前:

問1

道路や公園・駐車場などの段差解消のほか、街の中でバリアフリー化されている施設・箇所をいくつか挙げてください。

.....



広場と歩道の段差を埋める作業員
|| 南アルプス・御勅使南公園

道路の段差を解消する事業は当初、県内の身体障害者らでつくる「支えあう会」(ピーチ&グレイプ) (南アルプス市) が2011年度に道路や公共施設で実施した調査の結果を踏まえて実施。協会は14年からボランティアで工事を引き受け、市内の歩道と車道の段差の解消や補修作業を進めてきた。

南アルプス・御勅使南公園で段差を埋める作業をした。
県アスファルト合材協会(小林育也理事長)などは、道路の段差を解消するバリアフリー化事業を始めた。協会はこれまで障害者団体と連携して段差を解消する作業に当たってきたが、団体が昨年解散したことを受け、協会が単独で事業を引き継いだ。12日は南アルプス・御勅使南公園で段差を埋める作業をした。

〈穴山 翠津美〉

段差のない公園に 県アスファルト協が解消事業

問2

バリアフリーと同じような意味の言葉を記事から抜き出し、バリアフリーの考え方とどう違うか説明してください。

・言葉

・違い

の感染拡大や昨年2月に同会の戸沢茂夫代表が亡くなって同会が解散したことを受け、事業が2年近く中断。協会は「戸沢さんの福祉への思いを受け継ぎたい」として活動再開を決め、学識経験者や建築関係者らでつくる山梨ユニバーサルデザイン研究会とともに改めて段差の解消が必要な公園を調査した。

12日は南アルプス・御勅使南公園で、協会に加盟する道路舗装業6社の作業員ら18人が参加して作業を実施。公園東側の遊戯広場や駐車場のトイレ付近など10カ所の段差をアスファルト合材で埋め、車いす利用者や高齢者、ベビーカー利用者がスムーズに通行できるようにした。

協会は今後、市民や自治体の要望などを聞きながら、県内各地で事業を進める方針。小林理事長は「誰もが住みやすい社会の実現のため、少しでも役に立つことができればうれしい」と話した。

(2022年1月13日付 山梨日日新聞19面)

問3

次の漢字は何と読みますか。

補修「 」 御勅使「 」
舗装「 」 遊戯「 」